

新年のご挨拶

NEW YEAR'S GREETINGS

新年明けましておめでとうございます。

加入者の皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

おかげさまで、当健保組合の加入者数は順調に推移しており、事業所数は201社、被保険者数は約14,000人、ご家族を含めると加入者が約19,200人となっております。

さて、健保組合を取り巻く状況は、賃上げなどの影響から保険料の基礎となる標準報酬月額が増加傾向であるものの、医療費等の保険給付費においては依然として高い水準で推移しております。また、高齢者の人口の急増と医療費の増加により、高齢者医療制度への拠出金負担は保険料の約4割に至っており、健保組合の更なる財政悪化に大きな影響を及ぼしております。

更に、本年4月からは子ども・子育て支援金制度が開始され、健康保険料と合わせて支援金が徴収されることとなり、現役世代の皆さまには新たな負担をお願いする状況となっております。

今後とも、医療費の適正化や健康診断の受診促進、生活習慣病予防やメンタルヘルス対策など、皆さまの健康保持と増進のためにデータヘルス計画や事業所とのコラボヘルスを推進させるべく、保健事業の充実や効率的な運営に努めてまいります。

皆さまにおかれましては、年に1回は健康診断を必ず受診していただくとともに、結果をそのままにせず、必要に応じて医療機関での受診や生活習慣の改善等、健康の保持・増進を心がけていただきたくお願い申し上げます。

共済会では、物価高の影響があるものの、常備薬等の各種斡旋助成や宿泊・日帰り温泉施設の利用助成など多くの皆さまにご利用いただいております。また、昨年5月に旭川で開催されました全国菓子大博覧会の観覧助成では、たくさんの皆さまからお申込みがあり、大変ご好評いただきました。

今後も、各種利用助成や家庭常備薬等の補助斡旋など、皆さまの健康づくりにかかる斡旋助成の拡充、子育て支援など、引き続き皆さまのご要望を取り入れながら事業を実施してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年も皆さま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

北海道コンピュータ関連
産業健康保険組合

理事長 中村 真規

